

# 伊賀市市歌発表会

## みんなで歌おう

## 伊賀市のうた

市では、市の豊かな自然と歴史や文化に恵まれたイメージを市内外に発信するとともに、市民の皆さんにわがまちへの誇りや愛着、市民としての一体感を感じていただけるよう、共通の市のイメージを描けるシンボルとしての市歌の制定に取り組んでいます。

制定する伊賀市市歌を市民の皆さんに披露するため、「伊賀市市歌発表会」みんなで歌おう伊賀市のうた」を開催します。

### 【とき】

11月3日(金)・祝

### 受付開始

午後1時30分

### 開会

午後2時

### 【ところ】

あやま文化センター  
さんさんホール

### 【内容】

- ・ 作詞・作曲受賞者表彰
- ・ 市歌発表
- ・ 市歌歌唱指導
- ・ ミニコンサート／伊賀コミュニティオーケストラ
- ・ みんなで歌おう伊賀市のうた

### 【入場料】 無料

### 【問い合わせ】

本庁企画調整課

☎ 22・9620

FAX 22・9628

✉ kikaku@city.iga.lg.jp

### ※伊賀コミュニティオーケストラ

2002年に誕生した伊賀地方初の市民オーケストラ。市民に親しまれるオーケストラとして、ポピュラーな名曲も取り上げ、楽しい演奏会を目指して活動しています。

## 『伊賀地区ふるさと市町村圏計画』策定委員会委員を募集します

伊賀市・名張市広域行政事務組合では、本年度から来年度にかけ、伊賀圏域の新たな将来像とそれを実現するための広域的かつ総合的な施策を定める「伊賀地区ふるさと市町村圏計画」を策定します。

「伊賀地区ふるさと市町村圏計画策定委員会」では、計画の全体案に関し必要な事項の審議を行い、その委員として活躍していただける圏域住民の方を募集します。任期は計画策定終了までで、委員会は7回程度の開催を予定しています。

### 【応募資格】

- ①伊賀市および名張市に住所のある、満20歳以上の方
- ②伊賀市および名張市で設置するほかの委員会（審議会を含む）やその他附属機関の委員でない方

【募集人数】 2人（伊賀市1人・名張市1人）

### 【応募方法】

提出方法は、郵送またはEメールとします。

(1)住所・氏名（ふりがな）・年齢・性別・職業・電話番号を明記したもの。

(2)作文「伊賀地区ふるさと市町村圏計画策定委員会への応募の動機」について、800字以内で記載したものの（A4縦の横書き）

※郵送の場合は封筒に朱書きで「ふるさと市町村圏計画策定委員会委員応募」と明記してください。

※Eメールの場合は題名に「ふるさと市町村圏計画策定委員会委員応募」と明記してください。

(4)提出された応募書類は返却しません。

【応募期限】 11月6日(月)（郵送の場合は当日消印有効）

### 【選考方法】

作文審査により伊賀市と名張市から1人ずつ選考して決定します。なお、選考結果は、応募者全員に通知します。

### 【応募先・問い合わせ】

〒518-0825 伊賀市小田町1380-1

伊賀市・名張市広域行政事務組合

企画総務課 ☎22-9690

✉ iga-7@e-net.or.jp

ぶんぶんまる

## 分分丸 参上

こんにちは分分丸です。

僕たちは欲しいものをいつでも簡単に手に入れ、いらなくなったら捨ててしまっている。でもこんな快適な生活の中で確実にごみは増えているんだね。

そのとおりじゃ、分分丸。

おっ、お師匠様。

ごみは捨ててしまえばいいと思いがちじゃが、不法投棄など適切に処理されなかつたごみは環境を壊し続けていくんじゃな。だからこれまでごみの分別について修行してきたのじゃが、今こそわれらの暮らしの中でごみのダイエットをしなければだめなんじゃよ。

ごみのダイエット？お師匠様、どういことですか？

うむ、ごみの分別の前にはまず「ごみを出さない」ということじゃ。買物でついつい買いすぎてしまったことは誰にでもあるのじゃないかのう。本当に必要なものかどうか、よく考えるのじゃ。

例えば、過剰包装は断わる、買物袋（マイバック）を持参する。また家では、材料をムダなく使いきる、食べ残しをなくすのをごみを出さないことになるのじゃ。そして、「ごみとして出すときは、大切な資源として生かせるよう、正しく分別して」集積場へ出すんじゃよ。

はい、お師匠様。

本庁清掃事業課 ☎20・1050



# 「伊賀市指定ごみ袋」 平成19年1月1日開始

家庭用新エネルギー  
普及支援事業費  
補助金の申請受付  
を終了しました!

平成18年度の太陽  
光発電システム設置な  
どの家庭用新エネル  
ギー普及支援事業費  
設置費補助金申請受  
付は、申請者多数のた  
め終了しました。

【問い合わせ】

本庁環境政策課

☎22-9637

さくらリサイクルセンターで処理を行っている「燃えるごみ」は、透明か白色の半透明のごみ袋で、ごみ出しをお願いしていましたが、平成19年1月1日から「伊賀市指定ごみ袋」に変わります。

地元説明会を順次行っていますが、詳細については、次のとおりです。

【開始日】 平成19年1月1日

【金額】 ①45ℓ袋 1枚20円 ②30ℓ袋 1枚15円 ③20ℓ袋 1枚10円  
※購入する場合は、それぞれ10枚単位の販売となります。

【販売店】 スーパー・農協・支所などを予定しています。

※販売開始日と販売店は、本紙12月1日号でお知らせします。

【その他】 指定ごみ袋で出すごみは、週2回収集のある「燃えるごみ」です。

「燃えるごみ」以外は、従来どおりの袋を使用してください。

ごみを直接処理場へ持ち込まれる方は、従来どおりの方法です。

青山支所管内の方は、従来どおりの指定ごみ袋で、今回は変更ありません。

【問い合わせ】 本庁清掃事業課 ☎20-1050（さくらリサイクルセンター内）

しぜん

伊賀市環境保全市民会議  
事務局 本庁環境政策課

申し込み・問い合わせ  
本庁環境政策課 ☎22-9637

夏のにぎわい  
フェスタ大好評!

環境フェスティバル  
に来てね!



8月19日に銀座通りを中心に開催された「夏のにぎわいフェスタ2006」に出展しました。

今回は、身近に伊賀の自然を感じていただくために、「伊賀の水生生物水族館」として魚を中心に、エビや昆虫など伊賀の川や池で生息している生き物を展示しました。

このような生き物は自然環境の悪化によりずいぶん少なくなってきた「昔はよく見たけどなあ」という声もありました。特に、水槽で涼しげに泳ぐ魚たちに見入ったり、興味深げに名前を確かめたりする親子の姿が多く見られました。

釣り堀コーナーでは、磁石で釣り上げた魚の名前を覚えてもらいました。そのほか、子宝草(カランコエ)のプレゼントなど多くの皆さんと触れ合うことができました。



今年は、夏のにぎわいフェスタで、好評だった「伊賀の水生生物水族館」や、パネル展示など、自然の様子や環境問題に取り組んでいる活動内容を紹介します。

また、自然の良さ、あたたかさを実感できる「木のペンダントづくり」のコーナーや野山に出かけているようなキノコを見つけたり、これまで見たことのないキノコに出会える「秋のきのこをさがしにいこう!!」(午前11時出発)などを準備しています。

皆様のご来場をお待ちしています。

【とき】 10月29日(日) 午前10時～午後3時

【ところ】 ウェルサンピア伊賀 屋内テニスコート

「地球温暖化」「化学物質による汚染」「生態系の破壊」など、さまざまな問題について、自然と共生した豊かな社会への改善が必要です。

(文) 地域活動推進部会副部長  
川東芳夫

伊賀再発見ヘンリレ  
全人類のために  
環境にもっとも真剣に向かう時期  
にきている  
地球温暖化問題に世界中の人々が  
懸命に取り組んでいる  
資源に限度あり  
全てのもの大切さ  
飽食の時代、食べ物の無駄をなく  
そう  
次々と便利で質のよいものが生産  
され購買される  
あきれば惜しげもなく簡単に捨て  
てしまう  
希薄になった「もったいない」の意  
識をいつの時代にも持ちたいもの  
未だ山林にも見られる不法投棄  
美しい静かな田園自然を守りたい